



1年生を迎える会から見えること

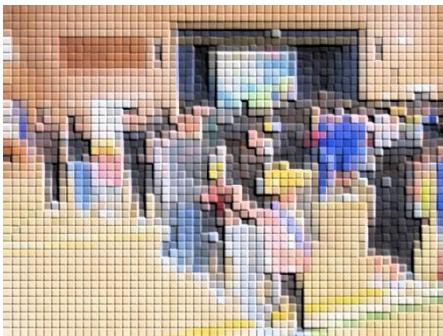
4月22日（水）に、児童会本部と6年生が中心になり、1年生を迎える会が行われました。慣れない学校生活に疲れも見え始めた1年生ですが、上級生に温かく迎えられ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

6年生が1年生をサポートする様子に、義務感ではなく心からの親切感が伝わってきて嬉しく思いました。本校の6年生は、下級生への接し方がとてもよいのだと再認識しました。

また、全校児童みんなが協力して「貨物列車」をして盛り上がる様子に、今年度の竜王西小児童の活躍を確信できました。

秩序あるジャンケンや、肩や腰をしっかりと持って列車をつくるのが自主的にできるのは、実はなかなか難しいことです。

本校のキーワードである「良好な関係性」を築くために必要な力を、子どもたちは身につけてきていると感じます。



1年生を迎える会への、6年生の振り返り

振り返りを文章にすることで自分の生活場面を思い返し、自分の言動について再認識することができます。この作業によって、人は物事を深くとらえることができるようになります。6年生は、1年生を迎える会を通して成長することができました。

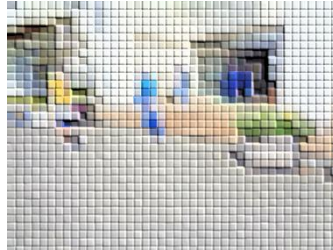
相手が1年生だからか、恥ずかしさがなかったりで自分からじゃんけんしよって言ったりできた。1年生を迎える会の終わりまで楽しくさせるように面白い言葉を言ったり、行動で面白くさせることができてすごく嬉しかったです。1年生を教室に返すときに「バイバイ」と言ってくれたのでめちゃくちゃ嬉しかったです。じゃんけん列車の時も、いろいろ教えてあげたりできて、また成長しました。

今日1年生を迎える会で、うまく指示などできたり、遊んだりできたけど、自分から楽しく話したりができなかったり、向きを変え忘れていたり、細かいところがうまくいきませんでした。

今日は1年生を迎える会があり、体育館に行く前に遊ぶとこでTの一年とSの一年と俺の一年でじゃんけんをしました。1年生は笑ってくれたけど、それしかできなかったからもつと他の遊びもやってあげたら良かったなと思いました。

今日の1年生を迎える会でステージに出てしゃべるときに恥ずかしがらずもつと全力でやればよかった。でも、ペアの1年生は楽しんでくれたから、それはしっかりやってよかったなと思った。しかもその1年生とは仲良くなれたから良かったなと思った。

災害時に、訓練通りに行動できることをめざして

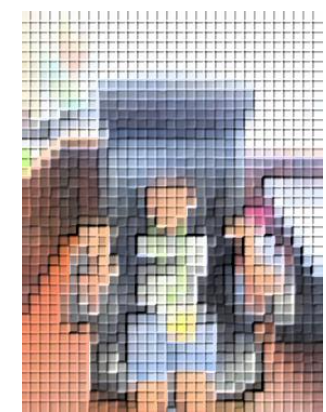
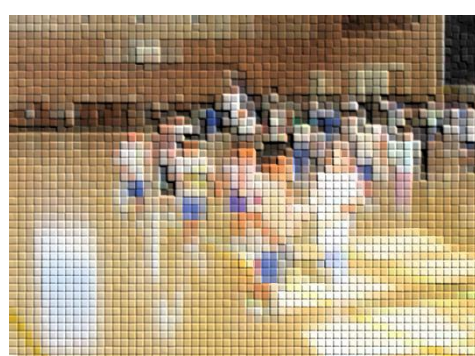
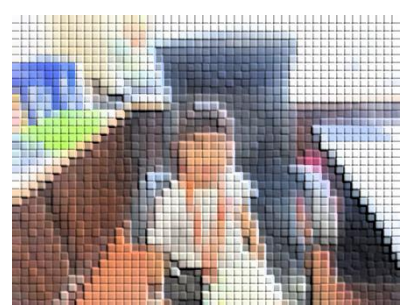
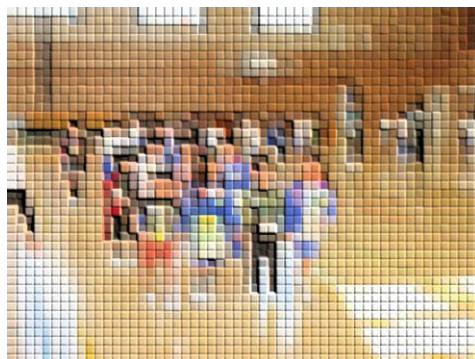


4月17日（金）に地震基礎避難訓練を行いました。集合する速さ、落ち着いた行動と話を聞く姿勢に、訓練を重ねてきた手応えを感じました。

他校での経験ですが、東日本大震災の時には、揺れの大きさに平常心を失い、指示を聞くことができない子を多く見ました。今回の訓練の様子ならば、西小の子たちは、実際に大地震が起きたとしても訓練通りにできるだろうと思うことができました。

1, 2年生の交流「学校たんけん」がありました

5月14日（木）に、2年生が、1年生を校内のところどころに案内して説明する「学校たんけんをしよう」がありました。2年生は、この日までに案内場所を下見し、説明する文章を用意して臨みました。昨年度に自分たちがしてもらっているので、どうするのがよいかがよくわかっていました。1年生は、2年生にいろいろなところを案内してもらって嬉しそうでしたし、なによりも2年生が上級生として振る舞う姿に、急な成長を感じました。やはり子どもたちは、異学年との交流と責任ある立場を通して大きく成長するのだと改めて確認できました。



↑校長室のいすに座る体験